

短期大学英語授業における

「わからなさに向き合う力」の育成

聖和学園短期大学

キャリア開発総合学科

永野 篤



ビジネスBASIC



ビジネスICT



経営・経理



医療ビジネス



公務員



ITシステム



WEBデザイン



コミュニティ福祉



司書・日本語



観光ビジネス



ホテル・ブライダル



フードビジネス



スイーツ・パンテクニク



ファッション



美容



スポーツビジネス



国際・K-カルチャー



進学・編入学



聖和学園短期大学

キャリア開発総合学科 令和7年度卒業生

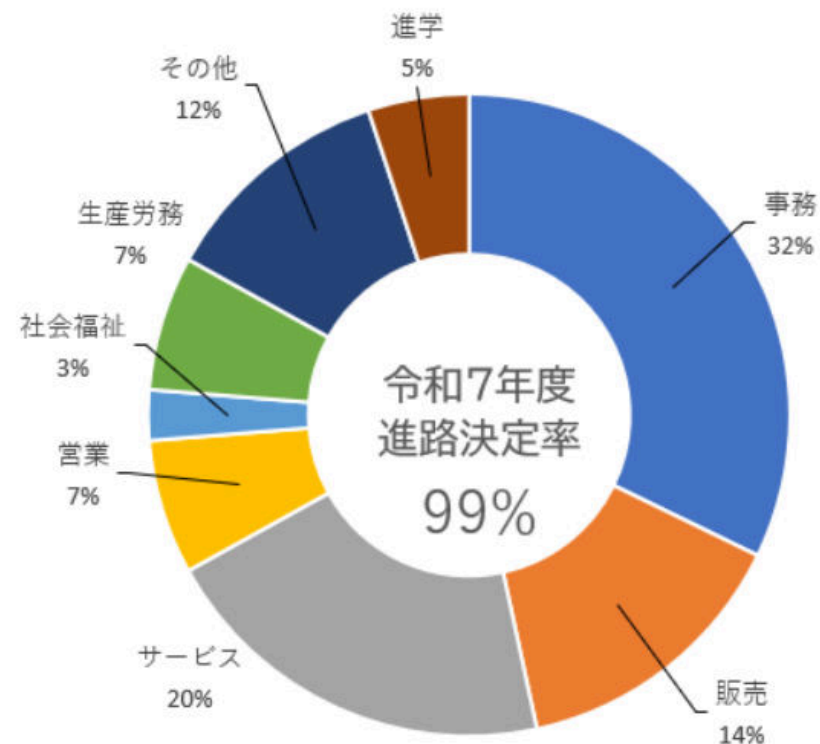
多分野から複数選択
組合せ自由(制限あり)

資格取得

司書など
科目履修により取得可能

製菓衛生師などは
科目履修により受験可能

MOS、FP、秘書検定
全国大学実務協会資格
その他専門分野の資格多数を支援



(令和8年5月1日現在)

経営・会計系

- 「見る目」「聞く耳」

CASE 3

年間80回もの研修を
受け持つ人気講師の場合



ソニー・ヒューマンキャピタル株式会社
講師
永野 篤氏

あえて教えずに努力が
自発的な「気づき」を促す

ソニー・ビューマンキャピタルは、ソニー・ビュームグループだけでなく、幅広い企業を対象に人事サービス全般を提供している。とりわけスキルアップトレーニングを主体とする教育研修事業においては、参加意識を高めるような研修プログラムを開発し、参加者・企業から高く評価されている。

同社トップ講師の一人、同社が独自開発したマネジメントゲームを使い、受講者に財務諸表の数字の持つ意味を理解させ、ビジネスリーダーに必要な戦略的思考の訓練を行う仕事だ。平均2〜3日の研修中、参加者はゲームの中でさまざまなビジネス判断を下しながら、

自分の経営する一架空の会社の業績を上げていく。

「無味乾乾に思える」語呂合わせの数字が実は日々の仕事と密接に関連している。参加者自身の手記によって、会社の教養数字を変えられ、これに気づき、自ら行動を变えようとなつてはいい。

永野氏は開会の目標を一言で語すが、参加者の中に財務諸表を初めて接する人もいる。会社に表示される数字はあくまで来たという人もいい。参加者自身も財務の基礎知識を理解してほしいため、習熟の教養工程は適用もしていない。

永野氏の肩書には講師である。が、あくまで自分は教える人ではなく

参加者プログラムを「研究」を扱ったものとする。参加者を導く「水先案内人」が、その「プログラム」にB、S、P／Lの順で、かつあつたとして、その参加者の理解をを無視したままで「テル通り」に教示し進めようとしても意味がない。それでは参加者の自己満足になつてしまふ。それは「プログラム」では混乱し、最低限の理解すべしと知識の中途半端なつてしまふが、だからこそ、私は、はいか、教えないという「これを言えない」という行儀には、
「参加者が自主的に行ふこと」を促す組むという「参加者自主的に行ふこと」を促す組むという問題点を究明することを目指すという。もちろん、プログラムの目的を過度に理解させるために必要とされる講義や、参加者の理解解明に合わせるやうに、教示し、参加者の理解を助長、或いは理解の勉強には違ふが、講師が財務知識を叩き込むことも、取柄だが、参加者も自分の理解を深めるには、教示が相まなければ、実務に活用できるはずはないのだ。研修プログラムの内容を「一巡頭」ではなく、理解したが、仕事にはまったく活かない。あるいは、他人へ、理解できない箇所がある。他として、財務に興味を持ち、自ら勉強して、研修の仕事に役立てようとする人。講師が満足できる、参加者の理解を助長とあるが、水先氏は当然、後者を研修目的に合った優秀な参加者とする。参加者満足は優先する研修プロセスを提供することに、水野氏は「私の理想の研修法」を提出しようとしたのだ。

担当科目②

英語系

- 英語ベーシック 英検4級～準2級
- 英語アドバンス 英検3級～準1級
- ドラマで学ぶ英語の世界
鬼滅の刃からシェイクスピアまで

実務系

- プレゼンテーション演習
- 問題解決の基礎と発想
- ITパスポート対策講座
- AI時代のロボット

司書系

- 生涯学習概論
- 図書館史
- 図書館制度・経営論
- 図書館情報資源特論

進学・編入系

- 小論文基礎
- 小論文応用

全国キャリア教育・就職ガイダンス

「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介

令和7年度

- 短期大学生の職業支援につながる簿記会計教育の新たなアプローチ：
実践的アクティブ・ラーニングによる理解と資格取得の促進

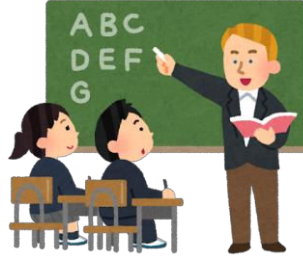
令和6年度

- 短期大学における司書資格取得と図書館員としての就労支援への取組み

令和4年度

- 短期大学における1年次・2年次、教職員一体のシームレスな就職・進学支援活動

背景と課題



短期大学におけるキャリア教育では、学生が将来の職業生活に必要な基礎的資質を、授業の中でどのように育成するかが重要な課題である。

特に本学科の学生には、英語力や学習経験、学習特性に多様性があり、英語に対して苦手意識や不安を抱える学生も少なくない。

英語学習においては、

「単語がわからない」

「文全体の意味がつかめない」

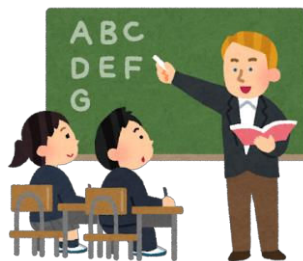
「聞き取れない」と感じた時点で、学習意欲が低下しやすい。

同様に、職業生活においても、初めて出会う情報や不完全な説明、意味の取りにくい状況に向き合わなければならない場面は多い。

したがって、英語授業においても、単に正解を求めるだけではなく、**分かる部分を手がかりにしながら、不明点を残したまま意味の見通しを立てる経験**を積ませることが重要と考えた。



解決策

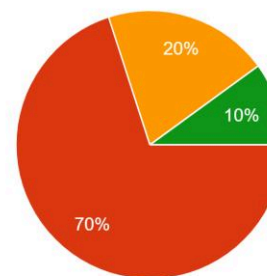


本取組では、英語ポップス教材を用い、学生が「**分かる部分**」から意味を組み立てられる授業設計を行った。授業では、楽曲や映像を提示したうえで、作品の背景や歌詞の概要を日本語で共有し、英語の単語、表現、文法、発音、映像、物語の流れなどを手がかりに理解を進めた。具体的には、親しみやすいアニメ主題歌の英語版から導入し、英語ポップスや映像教材を段階的に扱った。

学生は、最初から全てを理解するのではなく、聞き取れた単語、知っている表現、前後の文脈、映像や歌手の違いなどを手がかりに、意味の大枠をつかむ経験を積んだ。また、毎回の授業後にアンケートを行い、学生の理解度、不安感、気づき、感想を把握した。

その内容を次回以降の授業に反映するとともに、学生の声を共有することで、「自分だけがわからないのではない」「少しずつ分かるようになっていく」という自己参照的な成長実感につなげた。このように、英語を完全に理解することだけを目標にするのではなく、わからないものに出会ったときに、手がかりを探し、意味の見通しを立て、他者と共有しながら前に進む力を育てることを目指した。

5. 時制から、ストーリーの流れを考えることにつ...ついて、今の自分に近いものを選んでください。
10 件の回答



● まだわからない
● すこしわかってきた
● だいたいわかってきた
● よくわかってきた



職業生活にもつながる基礎的資質

- 本取組で育成を目指した「**職業生活にもつながる基礎的資質**」は、英語力そのものに限られない。
- むしろ、**未知の情報**や**不完全な説明**に出会ったときに、**分かる部分を手がかりにして状況を理解し、他者と共有しながら前に進む力**である。
- 本授業では、英語ポップスや映像教材を通して、次のような力の育成を目指した。

- 不明点を抱えたまま、分かる部分から見通しを立てる力
- 知らない単語や表現に出会っても、前後の文脈から意味を推測する力
- 映像、表情、声、背景情報など、複数の手がかりを組み合わせる力
- 自分の理解度や不安を言語化する力
- 他者の気づきや感想を共有し、自分の学びに取り入れる力
- 声に出して試す、グループで表現するなど、小さな挑戦を行う力

これらは、職業生活においても、初めての業務、曖昧な説明、専門用語の多い資料、相手の意図が読み取りにくい場面に向き合う際に必要となる基礎的な力である。

教養を広げ 人間力を養う

ものを見る目を養い、物事を主体的に、総合的に判断できる柔軟な思考力を培う人間力を磨く学びを大切にしています。



声に出し、意味や雰囲気を感じる

— 英語ポップス教材の展開 —

1. 紅蓮華（『鬼滅の刃』
主題歌の英語版）＊
2. Annie's Song
3. Stand by Me
4. When Tomorrow Comes
5. Don't Stop Believin'
6. Glee 第1話：場面理解
Don't Stop Believin'
7. Scarborough Fair
8. A Hazy Shade of Winter
Simon & Garfunkel版
9. A Hazy Shade of Winter
The Bangles版

※授業では、LMS上のリンクを用いて視聴し、資料では曲名・教材化した表現・学生コメントを中心に扱った。

(1)英語の骨格を見る：誰が／何を／いつ

Gurenge

- 主語と述語
You gave me ...
誰がどうしたかを見る
- 不定冠詞・定冠詞 a reason
理由が「ひとつ」ある
- 時制
gave 過去形
- 完了形
have given / You've given
過去から現在につながる表現

アニメ『鬼滅の刃』英語版冒頭

強くなれる理由を知った

誰 **?** S + V 誰がどうした

何 **?** O + O 何がどうなった

時 **?** 完了形 **V V V**

過去 現在 未来

学生コメント

アニメや曲で教えてもらえるので分かりやすい！
以前からずっと冠詞に苦手意識がありましたが、
楽しく知ることができて良かったです

まとめ

親しみやすいアニメ主題歌を入口にすることで、
英語への心理的ハードルを下げ、単語・冠詞・時制
などの基礎事項に自然に触れることができた



(2) やさしい英語で「意味が見える」経験

Annie's Song

(John Denver, 1974)

- like the mountains like =
「好き」だけでなく「～のように」

- let me ...let = 「～させる」

- come fill me again

短い動詞の組み合わせで意味を作る

- the mountains
複数形でも、特定のものを指すときは the がつく

学生コメント

歌の内容は最初分かんなかったけど、意味を理解するだけで歌いやすさが増して、意味も理解できてとても楽しい授業でした！

単語ひとつひとつの意味と発音がちゃんと理解できれば何となくの全体の意味や歌が歌えることがわかりました



(3) まとまりで意味が変わる

Stand by Me

(Ben E. King, 1962)

(John Lennon, 1975)

(映画: 1986)

- has come完了形：
「夜が来てしまった／夜になった」
- stand by me
stand = 立つ、だけではなく
「そばにいる」「支える」



- the sky that we look upon
後ろから説明する関係代名詞
- if the sky should tumble
現実では起こりにくいことを仮定する表現
- won't you stand by me?
依頼・呼びかけの表現

学生コメント

standとbyとmeでそれぞれの単語を組み合わせると、そばにいてや支えて離れないでというまた違った意味の言葉になることが知らなかったのが面白かったです



(4)難しさを分解して捉える

When Tomorrow Comes

(Eurythmics, 1986)

- when tomorrow comes

when = 「いつ」 だけではなく、時を表す接続表現

- I'll be ...未来を表すwill
- gonna

going to の口語的・歌詞的な形

- light - lit - lit 不規則動詞の変化
- the way ...後ろから説明が続く表現

前回までより歌詞が長くなり、語彙・発音・省略表現

- 文法の面で難度が上がった

学生コメント

知らない単語が多く訳せない部分も最初は多くありましたが、単語がわかると文章全体の意味もなんとなく理解できるようになりました

歌詞の意味を理解するのが少し難しく、発音も難しかったので、歌う時はさらに苦労しました。でも、歌詞を見ながら練習すると発音できそうだと感じたので、良かったです



(5)声に出して挑戦する

Don't Stop Believin'

(Journey, 1981)

- Don't stop ...否定の命令文：
「～するのをやめないで」
- believin'
believing の口語的・歌詞的な省略
- livin'
living の省略。ing が in' になる歌詞表現
- hold on to ...
hold = 「持つ」だけでなく、「手放さない」「しがみつく」
- streetlights, people
名詞の並列・イメージの積み重ね

学生コメント

- 初めて前で歌ったけど、とてもたのしかった。また永野ゼミでうたいたいとおもった
- 今日は初めてみんなの前で歌いましたが、実際に口に出して歌ってみることでネイティブな発音で単語を発する機会が増えてとてもいい学びになりました
- 一番最初の授業より、単語を読めるようになってきて、慣れを感じれてうれしかったです。英語は一番苦手なので、歌だと頭に入ってきてわかりやすい気がします。もっと英語ができるようになりたいので、テキスト買います



(6)歌詞理解から場面理解へ

Glee 第1話（ドラマ・映像教材） 2009

教材化した観点

- 英語のセリフ
速く、全部は聞き取れない
- 映像・表情・場面
聞き取れない部分を補う手がかり
- 登場人物の関係性
誰が、誰に、どのような気持ちで言っているか
- 物語を知ってから歌を聴く
歌詞の意味が入りやすくなる
- 主語・動詞を探す
文全体がわからなくても、意味の入口を作る

この回の意味

- 歌詞だけでなく、映像・会話・人物関係を手がかりに、英語を理解する活動を行った。
- セリフの聞き取りには難しさがあったが、学生は映像や前後の流れを使いながら、分かる部分から物語の意味を組み立てようとしていた。



学生コメント

言っていることがわからなくてもその文の前後の単語で大体のニュアンスや流れがわかることが以前よりも増えた気がしました

文字だけだと難しい部分も、映像と一緒にだとなんとなく理解することができた

歌い手によって、伝え方やとらえる意味が違うのかなと思った。物語を知ってから歌を聞くと意味が入ってきやすかったです

まとめ

英語を聞き取る力だけでなく、
映像・表情・前後の流れから意味を補う経験となった。
不完全な情報から状況を読み取る力は、職業生活におけるコミュニケーションにもつながる。



(7)詩的表現・反戦的文脈・歌唱参加 ①

Scarborough Fair

(Simon & Garfunkel, 1966)

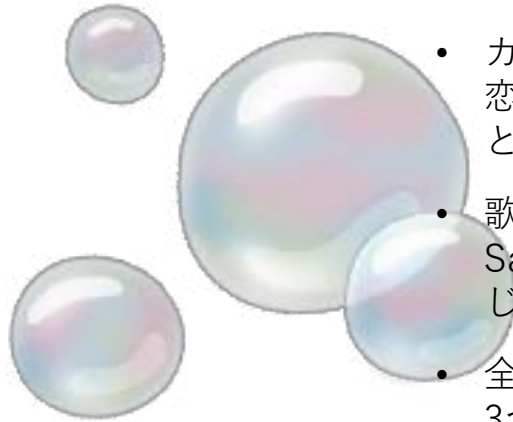
(Sarah Brightman, 2000)

(山田タマル, 2017)

アニメ『終末なにしていますか？忙しいですか？
救ってもらっていいですか？』

教材化した観点

- 古いバラッドに由来する詩的表現
日常会話とは異なる、象徴的・反復的な英語
- 知らない単語が多い歌詞
既知語と前後の流れから意味を推測する
- 主語・述語が明確でない表現
完全な文でなくても、言いたいことを考える
- カウンターソング的な歌詞
恋愛歌・民謡としてだけでなく、反戦的な文脈を含む作品
として扱う
- 歌い手・性別・映像作品による意味の変化
Sarah Brightman版やアニメ作品での使用場面を参照し、同
じ歌でも受け取り方が変わることを確認する
- 全員によるグループ歌唱
3つのグループに分かれ、初めて全員が歌う活動を行った

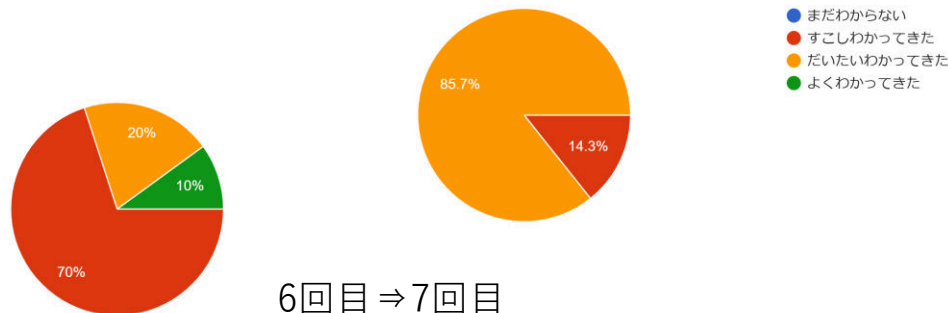


(7)詩的表現・反戦的文脈・歌唱参加 ②

この回の意味

- “Scarborough Fair” は、聞き慣れない単語や詩的表現が多く、学生にとって難度の高い教材であった。
- しかし学生は、知っている単語、前後の流れ、歌い方、映像や物語の文脈を手がかりに、歌詞の意味を組み立てようとしていた。
- この回では、全員が3つのグループに分かれて歌った。英語を「理解する」だけでなく、他者と一緒に声に出して表現する段階へ進んだ。

2. わからない単語があっても、だいたい内容を...ついて、今の自分に近いものを選んでください。
7件の回答



学生コメント

- 聞き慣れない単語が多かったけど、意味を知ることによってなんとなく流れを掴めた気がする
- 主語と述語がしっかりある文でなくても、言いたいことが理解できるようになってこれたと思います
- 関係代名詞に対して苦手意識を持っていたけど、今日の授業でなんとなくわかってきた気がした

まとめ

- 未知語や詩的表現に向き合いながら、学生は既知語・文脈・映像・歌い方を手がかりに、「わからなさ」を残したまま意味を組み立てた。

さらに全員で歌う活動を通して、理解を共有し、声に出して表現する経験へと発展した。

今後の展開

(8) (9) 発展教材：同じ歌詞の意味は変化する

A Hazy Shade of Winter

(Simon & Garfunkel, 1966 / The Bangles, 1987)

教材化する観点

- 同じ歌詞でも、演奏スタイルによって印象が変わる
 - S&G版：内省的・詩的
 - Bangles版：ロック調・疾走感・切迫感
- 時制表現
現在形、現在完了形、過去との対比
- 比喻表現
冬、春、時間、人生の季節
- 作品背景との接続
映画・ドラマ等での使用により、歌詞の受け取り方が変化する
- 「わからなさ」の発展段階
単語の意味だけでなく、時代背景・映像・演奏の違いから意味を考える

この教材の位置づけ

“Scarborough Fair” では、歌い手・性別・映像文脈によって同じ曲の意味が変わることを扱った。

“A Hazy Shade of Winter” では、さらに一歩進めて、同じ歌詞であっても、時代、編曲、演奏、映像作品との結びつきによって、作品の意味や印象が大きく変化することを考える教材として活用できる。

まとめ

歌詞の意味を単語単位で理解するだけでなく、演奏・時代・映像・作品背景を含めて解釈する発展教材として位置づける。

まとめ：「わからなさ」は学びの出発点である

英語ポップス教材を通して、学生は「全部わかる」ことではなく、「分かる部分から意味を組み立てる」経験を積んだ。

手がかりとなったもの

- 知っている単語
- 主語と動詞
- 前後の文脈
- 発音とリズム
- 映像と表情
- 歌い手や作品背景
- 他者と一緒に声に出す経験



学生コメントには、

- 「難しいが少し分かってきた」
- 「前より読めるようになった」
- 「映像と一緒にだと理解できた」といった変化が見られた。

「わからなさ」は失敗ではなく、学びの出発点である。

不完全な情報の中で手がかりを探し、見通しを立てて進む力は、職業生活にもつながる。

“なりたい自分”を 後押しする キャリアサポート

大切な将来を決める2年間、教員・職員が一体となって、学生一人ひとりに寄り添い、進路決定を全力で支えます。

